

事業実施内容

社内AI研究開発組織「AI Lab」を新設し、Agentic AIを活用したプロダクト開発を推進することを目指しており、そのために、METI日印人材交流イニシアティブを活用。

インド・バンガロールに2026年1月26日（月）から1月30日（金）まで滞在し、AIネイティブな開発スキルと経験を有するエンジニアや、多くの実績を有する開発会社および人材エージェントと面談し、情報を収集した。

具体的には、以下の情報収集および採用候補者と面談

- 開発委託や現地採用、オペレーション支援に関する計8社の企業・団体を訪問し、協議を実施
- 開発/委託関連: 開発パートナー候補との面談や、開発委託およびBOT（Build-Operate-Transfer）モデルについて情報収集
- 現地進出/組織関連: 採用プラットフォームの活用に関する協議、現地進出・オペレーション支援に関する協議、エンジニア市場動向の情報交換、技術評価プラットフォームの検討、EOR/ODC（海外拠点設立）支援スキームに関する知見を得ました。

事業成果

現地における採用候補者との面談およびIT開発企業との意見交換を通じて、ベンガロールを中心とするIT人材市場において、AI技術を活用した開発プロセスが既に確立され、AIネイティブなスキルを有する人材が豊富に存在していることが確認されました。日本でもAI活用を前提とした開発プロセスが進められていますが、インドにはAIネイティブなエンジニアが多く存在しており、現地雇用を通じて日本のプロダクト開発プロセスを改善する余地が大きいことが示唆されました。AI活用を前提とした開発は、世界的に業界標準となりつつあると考えられます。

成果

- 採用候補者16名との個別面談を実施
- 開発および雇用に関する知見のある現地企業8社と面談を実施

今後の雇用計画

インドでの開発拠点の設置に向けて短期間で少数精鋭のチームを組成すべく、現地で面談をした方々から採用を予定しています。一定期間、このチームで様々なプロジェクトを行い、その成果に応じてインドでの開発人員の増員を検討します。

